重要素ttorus。 で、農産物は栄養価 品質。良いもの。

農業技術や土壌改良について

ることの楽しさを実感し てもらおうと、本学では

「出前講義」を開講して

義」を行った。

成田教授は

めの農業技術、土壌改

物をたくさん収穫するた | サインとユニバーサルデ

義の後、

11 月 10 日

みどりの

静内高校、

学ぶこと、大学で研究す

足達准教授

まち」と「デザイン」

局校生を対象に学問を

# ●「専修大学北海道短期大学」ホームページ ● )http://www.senshu-hc.ac.

0126

(63) 4321

0126 (63) 3097

### 市 民と親睦深める 高 校 生

美唄市と同市教育委員 | する留学生や美唄在住の 本学に在学 | 外国語指導助手と



国際交流

する羽根

ポーツを楽しもう」で

学生ら15人が参加し、 50人と親睦を深めた。 唄市民会館で催された。 や日本人学生らの交流を 較する中国・アメリカ・ 学生ら15人が参加し、小本学からは中国からの留 目的に毎年開催されてい 中・高校生、市民ら約 今年は「若者文化で比 「美唄市国際交流ミー

日本」がテーマ。はじめ 本のファッションなどに いて笹浪聖子さん(商 『座学編』として、日 がスライドを用いて アメリカの流行に 中国のゲームとスポーツ 業技術学院)が話した。 行について王訳晗さんライトさんが、中国の流 スティーブン・ポール・ ついて同市外国語助手の に挑戦した。「中国のス 、商経1・黒竜江農業職 次の『体験編』では、

はルーツや遊び方を伝 われている。留学生たち

参加者たちは初めて

、羽根を蹴ってラリーす 伝統的な競技「ジェン 漢の時代に起源を持 一しく国際交流を行った。 |卵)」や米粉スイーツ、 中国茶が振る舞われ、 た「卵の茶葉煮(中国煮 留学生たちが調理し



参加者全員でジェンズに挑戦

みどりの総合科学科2

同講習は林業従事者の 今年度は 合への就職が内定してお 入職を前により実践

週間早一時30分から20時まで。 ・年は初 | 開放時間は原則として17 無料で | 放日が設けられている。

が、初心者から中級者ま

本スキー連盟)の指導員

期間中はSAJ(全日

で、各自のレベルに合わ

せて指導を行うスキー集

開放している。 ャンパスゲレンデ 雪は例年以下だ かったものの、 雪こそ昨年より1 市民の方に毎年、

しており、在学生

| 一授業などによる臨時開

-場を有 | 金曜日。 このほか、 スキ

が整えられている。

ロッジ(休憩室)の設備

リフト2基、夜間照明、 ース整備が行われ、簡易

ゲレンデは圧雪車でコ

一キャ |ら2月9日までの月、水、

本学は全国で唯

と、学生たちはシ をオープン予定。 スキーやスノーボ ーズンを待ちわび ドを楽しもう

なっている。

2、3級の受検が可能と



### ウインターフェスティバル 昨年のスキ 生係 0126 (63) 0 項、施設利用等の詳細は 102まで。 ホームページ、または学 開放日・時間、注意事

放日は1月12日か

### ★2月5日(土)開催

ェスティバル」が2月5日(土)に開催 学生自治会が主催する「ウインターフ

されます。 カーなどを予定。参加者には、昼食とし しカレーライスを振る舞います。 雪合戦、雪上ソフトバレー、雪上サッ

みどりの総合科学科・川村弥里さん

## 就業支援講習」に

### 就職前にスキルアップ目指す と実技講習、枝打ち、植 材工場の見学が実施され え付け、伐倒などの現場 機械作業や製 一的な知識、技術を身につ 実した内容で、 講習期間を振り返り、「充 けようと自主的に受講。

村さんは北海道上川

年度林業就業支援講習. ターが開催する「平成22 に参加した。 北海道造林協会·北海道 海道上川高―写真) がス 森林整備担い手支援セン キルアップを目指し、社 年次の川村弥里さん(北 郡下川町の下川町森林組

|を学ぶことがで

基礎知識と、安全を最優

た。研修を通し、

林業の ぎまし

っという間に過

毎日があ

としての基本を

いった、社会人 ちを伝えたりと り、自分の気持 を受け入れた

学べたと思いま

す。また、転職

先に考えた道具の使用法 | ち20代は私を含め2人 | るきっかけにもなりまし

|た、「15人の参加者のう|ということを真剣に考え |た」と成果を述べた。ま|が多く、社会に出て働く

を目的とした方

きまし一で、周りは年上の方ばか一た」と話した。

現在は世界大会も行

スパフォーマンスを披 同好会女子チームがダン のスポーツを楽しんだ。 続いて行われた『娯楽 では、本学のダンス | 旗山と岩見沢市栗沢町の ターで、実習は札幌市白 研修は札幌市のJRセン 10月7日から24日まで。 は、林業の基礎知識につ 育成が目的で、

か、12月15日にキ

を開講。また、1月26日 中授業(1月12~14日)

から28日まで、スキー検

定が催され、SAJ認定

ち」と「デザイン」

につ

生徒たちからは、 「講 | どの感想が寄せられた。 |サインにずいぶん目がい くようになりました」な

い農業技術」をテーマ | 良、混植などの栽培技術 | の生徒が受講。街のあち |ザイン」の講義は約9人

に、色や文 標識を例 する看板や こちで目に

|に、農業に興味を持つ生|を紹介し、農業の楽しさ|ンなどに利用されている 徒9人に講義を行った。 中学・高校で「出前講 を伝えた。

内高校で、足達健夫准教 授が札幌聖心女子学院中

授が北海道静

**及田保三郎教** 総合科学科の

院

札幌聖心女子

足達准教授の「タウン | 応用や考え方を解説。「ま ユニバーサルデザインの 字、デザイ

農業の楽しさ、作る喜び伝える

一安心・安全でおいしい作

成田教授

(9)

チェーンソーの実技講習を 受ける川村さん

りでした。幅広

過ごしたこと で、他人の考え い年齢層の方と